

2022年10月9日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい}久宝教会

第65巻第26号(通算3308号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

^{かみさま}神様がすべての^{ひと}人と共に^{とも}おられる

ことを証しして^{あかし}いく^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ 5:5)

せいれいこうりんせつ ^{だい} 19 ^{しゅじつ} 主日礼拝

^{しんがっこうび}
(神学校日)

《^{れいはい}礼拝はインターネットで^{ちゅうけいはいしん}中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
^{しちよう}ご視聴いただけますので、それぞれの^{ばしょ}場所で共に^{れいはい}礼拝をしていただけます》

^{ぜん} 前 ^{そう} 奏 (黙 ^{もく} 禱 ^{とう}) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

^{まね} 招きの ^{ことば} 詞 ^{しへん} 詩編 43編 5節

^{さんび} 賛美歌 『^{しんせいさんびか}新生讚美歌』73番 「^{ばん} 善 ^よ 力 ^{ちから} にわれ ^{かこ} 囲まれ」(©JASRAC)

^{せいしよ} 聖書 ^{そうせいき} 創世記 32章 23-33節

^{いの} お祈り

^{さんび} 賛美歌 21-453番 「^{ばん} 何 ^{なに} ひとつ ^も 持たないで」(©JASRAC)

メッセージ 「^おもうダメだ、では ^お終わらない」 ^{うしだ} 牛田 ^{ただし} 匡 ^{ぼくし} 牧師

^{さんび} 賛美歌 21-471番 「^{ばん} 勝利を ^{しょうり} のぞみ」(©著作権消滅)

^{しゅい} 主の祈り 21-62番 「^{ばん} 天に ^{てん} います ^{わたし} 私 ^{わたしたち} たちの ^{ちち} 父」(©教団讚美歌改訂委員会)

^{ささげもの} 献げ物 (*)

^{はけん} 派遣 21-91番 「^{ばん} 神の ^{かみ} 恵み ^{めぐ} ゆたかに ^う 受け」(1節のみ) (©JASRAC)

^{しゅくふく} 祝福 ^{うしだ} 牛田 ^{ただし} 匡 ^{ぼくし} 牧師

^{こうそう} 後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

^{ほうこく} 報告 (4頁 ^{ページ} を ^{さんしょう} ご参照 ^{ください})

《^{となり} お隣 ^{かんかく} と間隔 ^{せき} を ^{すわ} あけて、^{れいはい} 席 ^{さんか} にお座り ^{さんか} になった ^{さんか} ままで ^{さんか} 礼拝 ^{さんか} にご参加 ^{さんか} ください》

* 「^{ささげもの} 献げ物 (献金) ^{けんきん}」は ^{さんかひ} 参加費 ^{さんかひ} では ^{さんかひ} ござい ^{さんかひ} ません。

^{うけつけ} 受付 ^{けんきんばこ} に ^{けんきん} 献金箱 ^{けんきん} が ^{けんきん} ござい ^{けんきん} ます。 ^{ようい} ご用意 ^{かた} の ^{かた} ある ^{かた} 方 ^{かた} の ^{かた} み、 ^{ささ} お ^{ささ} 献 ^{ささ} げ ^{ささ} ください。

招きの詞 詩編 43 編 5 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)



私の^{たましい}魂よ

なぜ打ち沈むのか、なぜ^{うめ}呻くのか。

神を待ち望め。

私はなお、神をほめたたえる

^a「御顔こそ、わが救い」と。

わが神よ。

(脚注 a : 直訳「私の顔の救い、そしてわが神」)

聖書 創世記 32 章 23－33 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

²³ だが彼は夜中に起きて、二人の妻、二人の召し使いの女、それに十一人の子どもを引き連れ、ヤボクの渡しを渡って行った。²⁴ ヤコブは彼らを引き連れ、川を渡らせ、自分の持ち物も一緒に運ばせたが、²⁵ ヤコブは一人、後に残った。すると、ある男が夜明けまで彼と格闘した。²⁶ ところが、その男は勝てないと見るや、彼の^{こかんせつ}股関節に一撃を与えた。ヤコブの股関節はそのせいで、格闘をしているうちに外れてしまった。²⁷ 男は、「放してくれ。夜が明けてしまう」と叫んだが、ヤコブは、「いいえ、祝福してくださるまでは放しません」と言った。²⁸ 男が、「あなたの名前は何と言うのか」と尋ねるので、彼が、「ヤコブです」と答えると、²⁹ 男は言った。「あなたの名はもはやヤコブではなく、これからは^bイスラエルと呼ばれる。あなたは神と闘い、人々と闘って勝ったからだ。」³⁰ ヤコブが、「どうか、あなたの名前を教えてください」と尋ねると、男は、「どうして、私の名前を尋ねるのか」と言って、その場で彼を祝福した。³¹ ヤコブは、「私は顔と顔とを合わせて神を見たが、命は救われた」と言って、その場所を^cペヌエルと名付けた。

³² ヤコブがペヌエルを立ち去るときには、日はすでに彼の上に昇っていたが、彼は^{もも}腿を痛めて足を引きずっていた。³³ こういうわけで、イスラエルの人々は、今日に至るまで股関節の上にある腰の^{すじ}筋を食べない。男がヤコブの股関節、つまり腰の筋に一撃を与えたからである。

(脚注 b : 「神は闘う」「神と闘う」の意、c : 「神の顔」の意)

《先週のメッセージより》2022年10月2日 世界聖餐日礼拝

メッセージ「愛する裏切り者」より

水谷憲牧師

聖書 マルコによる福音書 14章 10-21節

イエス・キリストがエルサレムへ入ってから、イスカリオテのユダの裏切りによっていよいよ逮捕される直前の「過越(すぎこし)の食事」、いわゆる「最後の晩餐」の場面。食事中、イエスは言われる。「はっきり言っておくが、あなたがたのうちの一人で、私と一緒に食事をしている者が、私を裏切ろうとしている」。「人の子を裏切るその者は不幸だ。生まれなかった方が、その者のためによかった」。この衝撃的な「生まれなかった方が、その者のためによかった」という言葉を私たちはどう考えたらいいか。世の中で「裏切り者」と言えば必ず挙げられるイスカリオテのユダ。ヨーロッパのある国々では子どもにつけてはならない名前に挙げられているという。ユダが死んでからこれまで世界中で受けてきた呪いのようなまなざしを考えると、確かに生まれなかった方がユダのために良かったのかもしれない、と言ってしまいそうになる。

でも仮にイエスがそう言っていたとしても、彼の言葉を私たちが軽々しくそのまま使ってはいけない。最後の晩餐の場面でイエスが言われたあの言葉と、現代の私たちが何か起こる度に薄っぺらい正義感を振りかざし、怒りにまかせて罪人に向けて言ってしまいがちな言葉とは、決定的に文脈が違うはずなのだ。私たちの救い主は、人間のいのちを否定するような方ではないはずだから。神を裏切ったのはユダだけではない。他の弟子たちもみな、イエスを裏切って見捨ててしまった。私たちだってユダを責める資格はあるのか。共に頭を垂れて神に裏切りのゆるしを乞うことしかできないのではないか。しかしイエスは、ユダも含めて、こんな私たちの罪を赦して下さっている。

きっとイエスは、自分のことを心から愛しているのにもかかわらず、のちに裏切らざるを得なくなる一人一人の顔を見渡しながら、出会ってしまったがゆえの悲しみをこう表現されたのではなかったか。「生まれなかった方が、その者のためによかった」。もし私かあなたがこの世に生まれていなければ、あるいは、生まれる時期がもう少し違っていれば…もし私たちが出会っていなければ…あなたたちはみな、平凡ながらもそれなりに幸せな一生を送れたかもしれない。みなが裏切りの苦しみを十字架として背負うこともなかったろうに。この「生まれなかった方が～」というイエスの言葉は、言いつくせない愛と悲しみがこもった、非常に切ない言葉だったように、私には思えるのだ。そしてこの切ない言葉はそのまま、キリストから私たちへの言葉でもある。こんな私たちに対しても惜しみなく注がれる愛を思いながら私たちも、キリストに変わらずついて行けたらと思う。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 10月2日 世界聖餐日（聖霊降臨節 第18主日）礼拝

主日礼拝出席 大人4名 中継動画再生数 12回
 献金 大人5,000円 感謝



◎次週 2022年10月16日（日）

招きの詞 詩編 121編 7-8節
 聖書 エレミヤ書 31章 27-34節
 メッセージ 「胸の中へ」 岡嶋千宙伝道師
 賛美歌 21-453番（©JASRAC）、21-484番（©教団）、21-148番（©教団）
 礼拝は、インターネットで中継配信いたします。

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染症の流行が続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・日本基督教団部落解放センターでは、水平社宣言100年の今年10月に「部落解放全国会議 in 京都」を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、開催が来年9月に延期されました。それに伴って10月25日（火）15時～17時半に、「部落解放全国会議 in 京都 プレ集会」がオンラインで開催されます。講師は全国会議で基調講演をお願いしていた山本栄子さんで「水平社100年と私」という題で部落差別と解放運動の体験のお話があります。参加費は無料で、どなたでも参加していただくことができます。申し込み期限は10月15日（土）です。

ご参加をご希望の方は、下記の URL <https://onl.bz/k2QqVsy> より、もしくは、下の QR コードよりお申し込みください。



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
10/16	岡嶋伝道師	聖書を読む会？
10/23	牛田牧師	収穫感謝礼拝・おにぎり支援
10/30	岡嶋伝道師	誕生者祝福式
11/6	水谷牧師	(愛児祝福月間) 召天者記念礼拝・聖餐式 13時半～王寺墓地墓前礼拝 15時～第二・永眠者記念礼拝

前回の主を讃美いたします。

2022年10月に日本基督教団部落解放全国会議を開催すべく準備を重ね、水平社宣言100年の年に、水平社創立大会が行われた京都の地において、皆さまと共に集まり部落解放のための時間が持てますことを心より願ってまいりました。

しかし、新型コロナウイルスの流行拡大を受け、誠に勝手ながら実行委員会では開催を1年延期し2023年9月の開催とさせていただきます。オンラインでの開催も検討しましたが、これまで実行委員会ではフィールドワークの実施を大切に願い準備を進めてきました。実際に会い、訪ね、語り合うことを大切にしつつ、来年の実施に向けて準備を進めてまいりたいと思います。

2022年の全国会議は延期としますが、来年開催予定となる全国会議の企画としてオンラインの集いを企画しております。今年の全国会議を楽しみにして下さった皆さまには申し訳ありませんが、来年の全国会議をご予定いただければ存じます。良き日のために豊かな時間となりますことを祈りつつ。



2023年の全国会議開催に向け、プレ集いをオンラインにて開催いたします。講師は全国会議で基調講演をお願いしていた山本栄子さんです。水平社創立の9年後にお生まれの山本栄子さんとの対話の時を持ち、部落差別と解放運動の体験をお伺いします。皆様ぜひご参加ください。

プレ集会 「水平社100年と私」 講師：山本栄子
 10月25日（火）15時～17時半 オンライン

zoomで行います。入室の際はミュートにしてください。



<https://onl.bz/k2QqVsy>

申し込みはQRコード、もしくは裏面のFAX用紙をご利用ください。

山本栄子さんプロフィール
 1931年京都に生まれ12歳で就職。60年代に部落解放運動と出会い、朝田善之助さんの勧めで部落解放同盟左京区田中支部の女性部で学ぶ。家族の協力により様々な集いや学習会に参加。朝田学校で促された向上心とわが子へ思いが自身の文字を取り戻す運動につながり、71年に自宅で識字学級を開始。識字運動で全国の仲間と出会う。40代で調理師免許所得。小学校の給食調理員となり同和教育に携わる。退職後、夜間学校に通い69歳で大学進学。90歳を過ぎた今も解放同盟の枠を超えて共闘する仲間との出会いや学びを求めつつ、部落差別の解消と個人の尊厳の回復、人権問題の運動に取り組む。

主催/連絡先 日本基督教団部落解放センター 部落解放全国会議in京都実行委員会 実行委員長 片岡広明 (部落解放センター)
 ☎072-875-8470 <http://www1.odn.ne.jp/burakuliberation/top.html>

第十五回部落解放全国会議 in 京都
 延期のお知らせ

部落解放全国会議 in 京都
 プレ集会のお知らせ